

令和7年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（音楽）

受験番号	中音楽	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから6ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

※1は音楽を聴いて答える問題です。

- 1 これから聴く旋律を解答用紙に書きなさい。なお、調、拍子、小節数は以下のとおりである。

G-dur (ト長調)、4分の4拍子、8小節

- ・調号、拍子記号は自分で書くこと。
- ・旋律は、8小節を通して、全部で4回繰り返す。
- ・曲間は、10秒とする。

2 第1学年において、「魔王」を教材に「詩と音楽との関わりを意識して歌曲のよさを味わおう」という鑑賞の題材を設定し、次のような指導計画を立てた。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【指導計画】

時	◆ねらい ○主な学習活動
1	<p>◆曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりに関心をもつ。</p> <p>○「魔王」全体を鑑賞し、初発の感想について意見交流する。</p> <p>○(あ)「魔王」の作曲者や日本語の歌詞を知り、詩の内容と曲想との関わりについて考える。</p> <p>○題材の学習の見通しをもつ。</p>
2	<p>◆音色、旋律、強弱を知覚・感受しながら、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>○(い)父と子と魔王の旋律を聴き比べ、それぞれの雰囲気や音楽の特徴について感じ取ったことや気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>○(う)個人で考えたことを基に、グループや全体で気付いたことや感じ取ったことを意見交流する。</p>
3	<p>◆詩と音楽との関わりを考えながら、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○曲全体を鑑賞し、自分が捉えた「魔王」のよさや美しさを紹介文にまとめる。</p> <p>○学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。</p>

(1) 第1時の下線(あ)について、I～Vに当てはまる人名や国名、語句を書きなさい。

歌曲「魔王」の作曲者である(I)は、(II)のウィーン郊外で生まれ、31歳でその人生の幕を閉じた。西洋音楽史の時代区分では、(III)に属する。交響曲や室内楽曲など多くのジャンルで作品を残したことで有名だが、とりわけ歌曲は600曲以上作曲し、ドイツ語による詩と旋律とピアノ伴奏が一体化した(IV)と呼ばれる分野において、大きく功績を残した。歌曲「魔王」の詩は、詩人(V)によるものである。

(2) 次の楽譜は、(1)の作曲者が作曲した楽曲の一部である。このことについて、後の①、②の問いに答えなさい。

① 曲名を書きなさい。

② 楽譜に示した音符が実音になるようにB^bクラリネットの譜面を調号を用いて書きなさい。

- (3) 第2時の下線(い)の活動で、生徒Xは、以下のようにワークシートに記入した。【資料1：「魔王」の楽譜の一部】を参考にしながら、ア、イに当てはまる語句を書きなさい。

【生徒Xのワークシート】

「子」の場面では、子の魔王に対する恐怖心やあせりの気持ちが強くなっていく様子が伝わってくる。なぜなら、〔 ア 〕という歌詞の部分に着目すると、〔 イ 〕が変化するからだ。

【資料1：「魔王」の楽譜の一部】

- (4) 第2時の下線(う)の活動で、生徒Yから「子の場面と魔王の場面では、ピアノ伴奏のリズムが違う」という発言があった。この発言について、他の生徒にも実感を伴わせながら理解させるための手立てを書きなさい。
- (5) 各学年の「B鑑賞」の指導に当たっては、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」では、以下のように示されている。a、bに当てはまる語句を書きなさい。

イ 第1学年では（ a ）したり、第2学年及び第3学年では批評したりする活動を取り入れ、曲や演奏に対する評価やその（ b ）を明らかにできるよう指導を工夫すること。

3 第2学年において、「曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫しよう」という題材を設定し、「浜辺の歌」を教材に「A表現（歌唱）」の学習を行った。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) この曲の作曲者名を漢字で書きなさい。

(2) この曲の形式を書きなさい。また、この形式の特徴を捉えさせるための手立てを書きなさい。

(3) 楽譜上のAの部分について、次の①、②の問いに答えなさい。

① Aの部分に当てはまる歌詞をひらがなで書きなさい。

② 「音が跳躍していて音程を取るのが難しい」という生徒の発言があった。この発言に対して考えられる教師の支援を書きなさい。

(4) 音楽表現に対する思いや意図を伝え合う活動を取り入れたところ、「4段目の終わり方が印象に残るように表現するために、rit.の歌い方を工夫してみたい」という発言があった。この発言を受けて、様々なrit.の仕方で歌い方を試した。その意図を書きなさい。

(5) 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」では、歌唱教材の取り扱いについて、各学年において「共通教材の中から1曲以上を含めること」と示されている。このことを踏まえて、次の①、②の問いに答えなさい。

① 共通教材として示される歌曲を「浜辺の歌」の他に2曲書きなさい。（曲名は、漢字の部分は漢字で書くこと。）

② 共通教材を扱うことの目的を書きなさい。

- 4 第3学年において、「ギターの色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏しよう」という題材を設定し、ギターを用いて「A表現（器楽）」の学習を行った。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【指導計画】

時	◆ねらい ○主な学習活動
1	<p>◆ギターの学習への興味・関心をもつ。</p> <p>○ギターの歴史や楽器について知る。</p> <p>○題材全体の見通しをもつ。</p>
2	<p>◆ギターの音色と奏法との関わりについて理解する。</p> <p>○基礎的な奏法を確認し、音色の特徴について意見交流する。</p> <p>○互いに助言し合いながら、曲を演奏するために必要な奏法を身に付ける。</p>
3	<p>◆ギターの音色や奏法を生かして、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>○(あ) 曲にふさわしい表現を追求するために、グループで様々な奏法を試す。</p> <p>○(い) グループ同士で互いに中間発表を行う。</p>
4	<p>◆演奏発表を通して表現の高まりを実感し、ギターの音色や演奏に親しむ。</p> <p>○グループごとに発表し、表現のよさを伝え合う。</p> <p>○(う) 学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。</p>

- (1) 【表1】は、本題材で扱うギターの奏法である。A～Cに当てはまる語句や文を書きなさい。

【表1】

名称	弾き方	特徴
(A) 奏法	弦を弾いた後、隣の弦に触れない。	和音やアルペッジョで弾くときに適している。
アポヤンド奏法	(C)	旋律を弾いたり、低音をしっかり鳴らしたりするときに適している。
(B) 奏法	左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時にかき鳴らす。	コード伴奏を行うときに適している。

- (2) 第3時の下線(あ)の活動の際に、生徒がICT機器の録画機能を使って自分たちの演奏を録画することのよさを書きなさい。
- (3) 第3時の下線(い)の学習活動を設定した意図を2つ書きなさい。
- (4) 第4時の下線(う)の活動では、振り返りの視点を生徒に示した。「できるようになったこと」や「分かったこと」の他に、題材全体の振り返りを充実させるための視点を書きなさい。
- (5) 器楽分野における「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力について「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編」では、以下のように示されている。次のa～cに当てはまる語句を書きなさい。

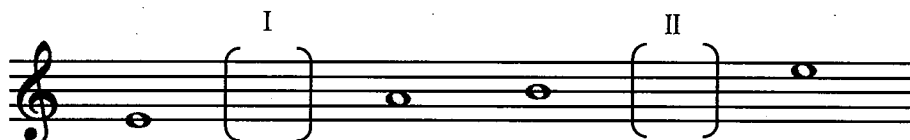
ア 器楽表現に関わる(a)や(b)を得たり生かしたりしながら、(c)器楽表現を創意工夫すること。

- 5 第2学年において、「言葉の抑揚やリズムを生かして旋律をつくろう」という題材を設定し、「A表現(創作)」の学習を行った。【資料1】は、本題材で設定した創作の課題や条件である。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【資料1】

(課題)
(条件)

- (1) 題材の導入において、俳句の言葉を発音しながら、言葉の抑揚に合わせて手を上下に動かす活動を設定した。その意図を書きなさい。
- (2) 次は、条件アに示す民謡音階である。I、IIに当てはまる構成音を五線に書きなさい。



- (3) 生徒が旋律をつくる際の参考となるように、教師が創作した旋律を例示したい。次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 【資料1】の課題や条件を踏まえ、生徒に例示する旋律を創作しなさい。なお、「
～俳句 略～」が歌詞となるよう、創作した旋律の下に書くこと。
- ② ①で創作した旋律のイメージ及び工夫した点について説明しなさい。その際、説明する部分が明らかになるように留意すること。
- (4) 「雀の子が小さくてかわいい感じを表現したい」という思いをもった生徒に対して、教師がどのような助言をするか、旋律やリズムに着目して具体的に書きなさい。
- (5) 創作分野における技能の評価を行う際の留意点を「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編」を踏まえて書きなさい。

音楽	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中音楽	氏名	
----	------	-------	------	-----	----	--

(7年)

1

2

(1)	I		II		III	
	IV		V			
(2)	①					
	②					
(3)	ア		イ			
(4)						
(5)	a		b			

3

(1)		
(2)	形式	
	手立て	
(3)	①	
	②	
(4)		
(5)	①	
	②	

音楽	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中音楽	氏名	(7年)
----	------	-------	------	-----	----	------

4	(1)	A		C	
		B			
	(2)				
	(3)				
	(4)				
(5)	a		b		
	c				

5	(1)		
	(2)		
	(3)	①	
		(歌詞)	
		②イメージ及び工夫した点	
(4)			
(5)			

以下はあくまでも解答の一例です

音楽	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中音楽	氏名	(7年)
----	------	-------	------	-----	----	------

1 20点



2	(1)	I	シューベルト	II	オーストリア	III	ロマン派
		IV	リート	V	ゲーテ	(I~V 各3点 計15点)	
(2)	①	野ばら (4点)					
	②	(略)					
(3)	ア	おとうさん おとうさん		イ	音の高さ (アとイ完答で6点)		
(4)	(例)・音楽を聴き、伴奏の形が変化するところで挙手をする。 ・その部分の楽譜を見ながら、音で聴き返して確認する。等 (8点)						
(5)	a	言葉で説明 (3点)		b	根拠 (3点)		

3	(1)	成田為三 (4点) ※漢字で	
	(2)	形式	二部形式 (5点)
(3)	①	かぜのおとよ くものさまよ (4点) ※ひらがなで	
(4)	②	(例)・教師がゆっくりと範唱する。 ・手の上下の動きを付けて歌うよう伝える。等 (6点)	
(5)	①	「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」「花」「花の街」の中から2曲 (各4点 計8点) ※漢字の部分は漢字で	
(5)	②	(例)・我が国のよき文化が世代を超えて受け継がれていくようにするため。 ・世代を超えて生活の中の様々な場面で音楽を親しんだり、共有したりする態度を養うため。 (6点)	

以下はあくまでも解答の一例です

音楽	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中音楽	氏名	(7年)
----	------	-------	------	-----	----	------

4	(1)	A	アル・アイレ (アル アイレ)	C	弦を弾いた後、指を隣の弦に当てて止める (各4点 計12点)	
		B	ストローク			
	(2)	(例)・表現したい思いや意図に合った演奏になっているか確認することができる。 等 (6点)				
	(3)	(例)・表現の工夫のよさを共有・共感できるようにするため。 等 (6点)				
		(例)・自分たちの課題を見つけ、更なる表現の追求に生かすことができるようにするため。 等 (6点)				
(4)	(例)・題材での学びを、今後の学習にどのように生かし、活用していくかという視点。 ・題材での学びを、生活や社会、伝統や文化等と関連付けた視点。 等 (6点)					
(5)	a	知識		b	技能	
	c	曲にふさわしい		(各3点 計9点)		

5	(1)	(例)・言葉の抑揚と音高との関わりについて、実感を伴って理解できるようにするため。 等 (6点)				
	(2)	(各3点 計6点)				
	(3)	① (略)				
		(歌詞) (13点)				
	(4)	②イメージ及び工夫した点 (略) (8点)				
(5)	(略) (6点)					
(5)	(例)・創作分野における技能は、旋律や音楽をつくるために必要な技能であり、つくった作品を演奏することができる技能ではないことに留意する。 (6点)					